

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けたGoogleアプリ等の活用

・クラウド上での同時編集による自由な他者参照、学習の過程をデータとして残すことが可能であるGoogle スプレッドシートを活用した授業の振り返りを行う。



スプレッドシートの進捗を確認し、個別に応じた指導を行えるようになっている

いまここシート (体育)

		AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ		AK	AL	AM	AN			
		ラップ	実際のタイム	目標タイム	先生からのコメント	評価	ふりかえり (考えたこと、疑問など)	ラップ	実際のタイム	目標タイム	ラップ	実際のタイム	目標タイム			
16	持久走のフォームや呼吸の仕方について理解して、走ることができる。	1:04	1:04	1:10	<input type="checkbox"/> もっと書こう	S	今までの一番早いペースで走り切ることができました。また、そのことについて考えてみると、これまでのペースのアップダウンが大きい走りではなく、少しだけ歩く時以外はほぼ同じペースを保つことができているかなと思いました。4周目ラップが10秒ほど落ちてしまっていたところが今回の失敗したところだと思ったので、4周目を意識していきたいです。	1 週目	1:03	1:03	1:1	2 週目	1:03	2:06	2:1	
	自分の体力に応じて、同じ早さで走ることができるペースを考えて、走ることができる。	1:12	2:16	2:20	<input type="checkbox"/> 具体的に	A		3 週目	1:13	3:19	3:3	4 週目	1:24	4:43	4:4	
	単元の目標に向かって、あきらめずに取り組み、計画したり改善したりすることができる。	1:22	4:46	4:40	<input checked="" type="checkbox"/> いいねその調子!	A		5 週目	1:17	6:00	5:5					
		1:23	6:09	5:50	<input type="checkbox"/> すばらしい!											
			目標ラップタイム		<input type="checkbox"/> もっと書こう	S					目標ラップタイム					
17	持久走のフォームや呼吸の仕方について理解して、走ることができる。	1:01	1:01	1:10	<input type="checkbox"/> 具体的に	S	今回は、持久走ラストで、今までの練習の成果を出して走る時間でした。一番最初のタイムは6:05でしたが、5:34と約30秒ほど早くなったので今までの練習の成果を発揮できて嬉しかったです。今回早く走れたと思われる理由は、早い子の後をついて行けば早く走れた理由だったので、着いていけば早く走れた理由なのかなと思います。なので、6年生の持久走も早い子の後をついて行って、5:34秒よりも早く走れるようになりたいです。	1 週目	0:57	0:57	1:0	2 週目	1:04	2:01	2:1	
	自分の体力に応じて、同じ早さで走ることができるペースを考えて、走ることができる。	1:10	3:20	3:30	<input checked="" type="checkbox"/> がんばってるね!	A		3 週目	1:10	3:11	3:2	4 週目	1:12	4:23	4:3	
	単元の目標に向かって、あきらめずに取り組み、計画したり改善したりすることができる。	1:09	4:29	4:40	<input checked="" type="checkbox"/> いいねその調子!	A		5 週目	1:11	5:34	5:4					
		1:08	5:37	5:50	<input type="checkbox"/> すばらしい!											
			目標ラップタイム	1:02	<input type="checkbox"/> もっと書こう	S					目標ラップタイム					
	持久走のフォームや呼吸の仕方について理解して、走ることができる。	0:55	0:55	1:02	<input type="checkbox"/> 具体的に	S	今回は、持久走ラストでした。前日もタイムが1秒落ちて残念でしたが、今までの一番走り良かったなと感じました。来年は、もう少しペースを早めたい、自分にあったペースで持久走をやりたいなと思いました。肘を後ろに引く、背筋を伸ばして走る、呼吸を意識することを来年も意識したいなと思いました。	1 週目	0:57	0:57	1	2 週目	1:02	1:59		
	自分の体力に応じて、同じ早さで走ることができるペースを考えて、走ることができる。	1:02	1:57	2:04	<input type="checkbox"/> すばらしい!	A		3 週目	1:01	3:00						
		1:05	3:02	3:06	<input checked="" type="checkbox"/> がんばってるね!	A										

・そのほかにも、個別での学びと他者との学びを一体化して進めていくために学習支援ツールの共有ノートや、デジタルホワイトボードソフトを活用して学習を進めている。



【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化のためのクラウド環境の活用①」

・ デジタルホワイトボードソフトの理解、活用の幅を深めるため、教職員に向けた全体研修を開催

・ 現職研究授業の協議会でデジタルホワイトボードソフトを活用し、会議の省力化を図るとともに、協議の内容を深めている。

・ その様子を学習用端末を用いて動画撮影し、クラウドで共有することで参加できなかった職員への共有、いつでもオンデマンドに振り返りができるようにしている。



デジタルホワイトボードソフトやチャット機能の活用について研修しました。



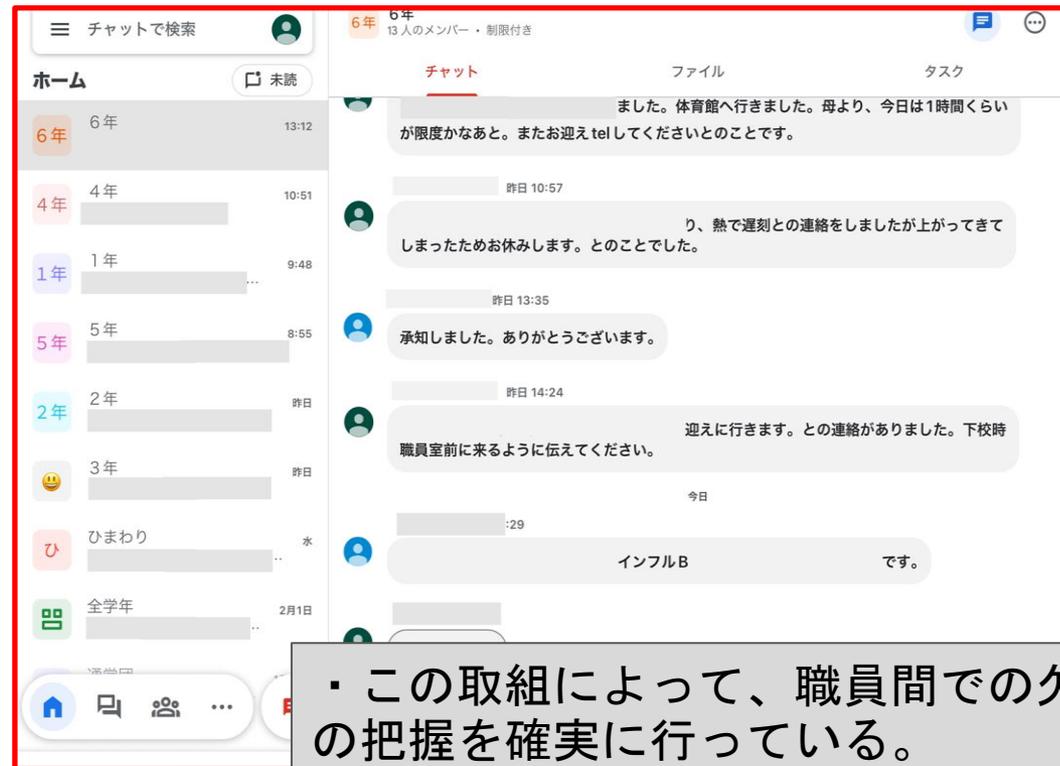
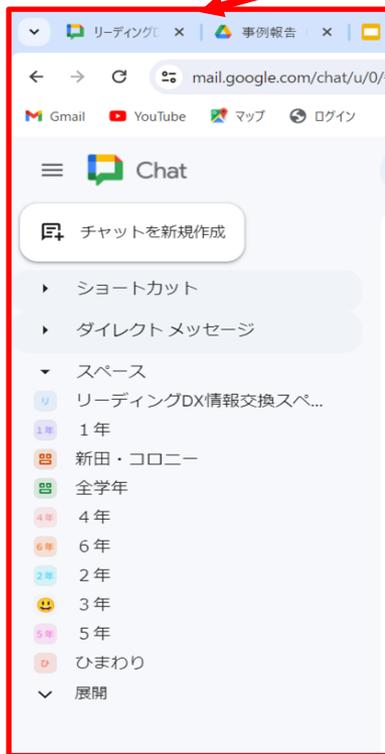
	よかった点	反省点	改善点
①見方・考え方を意識した授業づくり。	...	...	...
②単元の見通しをもたせた授業づくり。	...	...	...
③その他	...	...	...

デジタルホワイトボードソフトを使って協議会

## 【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化のためのクラウド環境の活用②」

「Googleチャット機能を職員間で利用し、遅刻・早退等の現状把握をする」

- ・各学年での情報交換を効率的に行えるよう、アカウントグループ（スペース）を作成し一斉連絡を行っている。
- ・学年間で情報を共有しやすくなっている。特に児童数の把握に使用することで、災害時有効であると考えている。



・この取組によって、職員間での欠席状況の把握を確実にしている。

## 【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化のためのクラウド環境の活用③」

## 集会の様子を全校配信している（Googleクラスルーム）

- ・集会や朝会の様子を適宜教室から様子を見られるように、職員でクラスルームを作成
- ・クラスルームのGoogle meetを指導者用のiPadで起動し、集会の様子をオンラインで一斉に放送する。



- ・この取組によって、集まることができない状況であっても、瞬時に全校に向けた情報をクラウド上で発信できる仕組みを実践できている

【取組内容⑤】 「実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及するための取組」

## Googleサイトを活用したリーディングDXスクールの取組発信

- ・ 指定校、協力校の担当者が共同で編集できるよう、一つのサイトに編集権限をもつアカウントグループを作成
- ・ 指導者用のiPadで撮影した授業風景等の写真をそのままGoogleサイトにアップロードし、簡単な操作で記事を編集することが可能。



・ この取組によって、業務負荷を極力抑えた情報発信の仕組みを実践できている

・ この仕組みはさまざまな部会等の事例報告に活用することも可能と考えられる